

関東聾学校卓球大会 組合せ抽選方法について

卓球専門部

1 1部個人戦について

- (1) 前年度全国大会優勝選手を第1シードとし、準々決勝から参戦するスーパースードの形にする。
- (2) 次のとおり選手にポイントを与える。

	1位	2位	3位	ベスト8	ベスト10
関東大会個人戦	9	8	7	6	3
全国大会個人戦	3	2	1		

- (3) ポイント上位順に選手をシードする。ポイントが同数の場合は上位大会の成績を優先する。
- (4) シード下（ベスト4、可能であればベスト8）の枠数を確認し、校内ランキング等を参考に枠数と同数の選手を決定する。その際、同校選手が複数入らないようにできるだけ配慮をする。
- (5) 校内ランキング等を参考に選手を同校選手と反対の山に入るようできるだけ配慮をして個人戦抽選順に審判長が手抽選で決定する。

※個人戦抽選順

男子→

←女子

水戸	栃木	群馬	大宮	坂戸	千葉	筑波	中央	葛飾	立川	横浜	横須賀	川崎	平塚	山梨	沼津	長野	松本	明晴
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----

- (6) 上記においては、同校選手が同じ山（4分割）に入らないようできるだけ配慮する。

【校内ランキング等に該当する事項】

①強化指定選手等 ②聾学校以外の大会実績 ③関東大会個人戦実績 ④校内ランキング

2 1部団体戦の組み合わせについて

1部団体戦の組み合わせは、競技1日目の1部個人戦の結果により決定する。

- (1) 次の方法で1部個人戦の結果により各選手にポイントを与える。
勝利したら2ポイントを与える。
※何回戦からポイントを与えるかは、試合の組み合わせによって検討し記載する。
- (2) 1部個人戦出場選手のポイント合計（棄権がいた場合は参加人数の合計ポイント。合同チームは上位3名の合計ポイント）のポイントが多い順に順位を決め、予選ブロックの組み合わせを決定する。ただし、ポイントが同数の場合は、すべての選手の①勝ちゲーム/全ゲーム（ゲーム率）②得失点差 ③抽選の順で比較し決定する。
※シード、不戦勝はポイントのみを与える。ゲーム数はカウントしない。
※予選リーグ及び決勝トーナメント出場決定戦、決勝トーナメントの組み合わせ表は、プログラム編成会議時に大会審判長が確認し決定する。
※予選リーグにおいて棄権が出た場合には、組み合わせ表を組み直し、ポイント順に組み合わせを決定する。

3 2部個人戦について

- (1) 前年度全国大会優勝選手を第1シードとする。
- (2) ポイント上位順に選手をシードする。ポイントが同数の場合は上位大会の成績を優先する。
- (3) ポイント上位順に選手を同校選手と反対の山に入るようできるだけ配慮をし、個人戦抽選順に審判長が手抽選で決定する。

4 オープンシングルスについて（会場により実施ができない場合もある）

同校選手同士でできるだけ試合をしないようにできるだけ配慮し、個人戦抽選順に手抽選で決定する。

5 エキシビションシングルスについて

実態が同じような生徒の対戦になるよう参加生徒のレベル区分をもとに、参加数の多い学校及び個人戦抽選順により、審判長が手抽選で決定する。

6 オープンダブルスについて（オープンシングルスが開催できない場合に実施を検討する）

参加数の多い学校及び個人戦抽選順により、審判長が手抽選で決定する。